



三井海洋開発株式会社  
2019年12月期  
第2四半期  
決算説明会

2019年8月2日





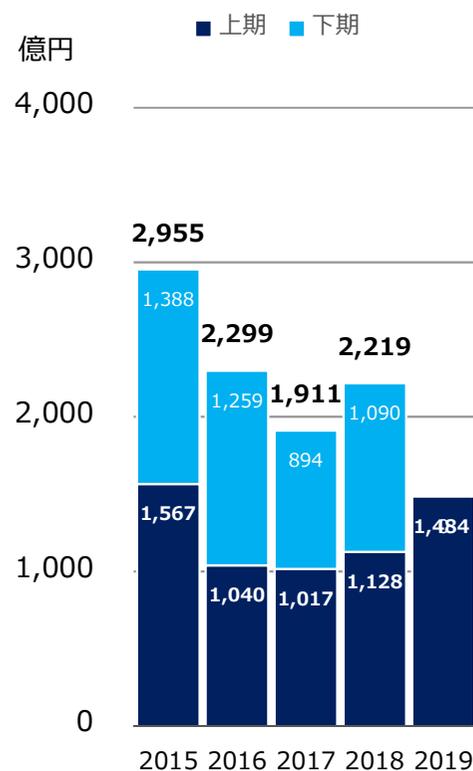
事業の概況

外部環境と今後の見通し

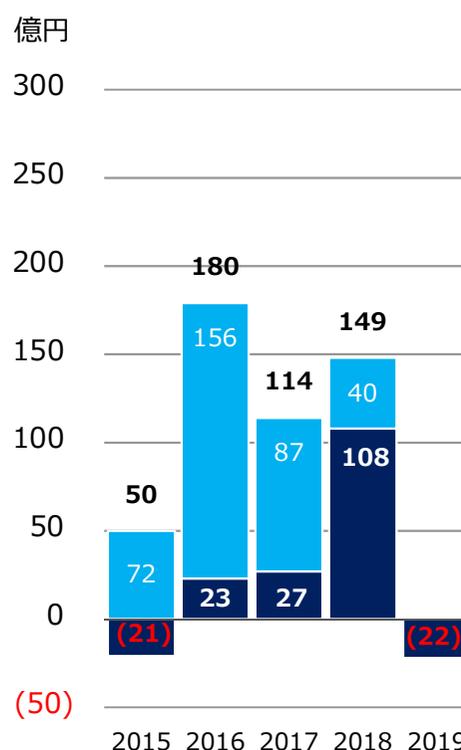
決算概要

# 2019年上半期：業績の概況

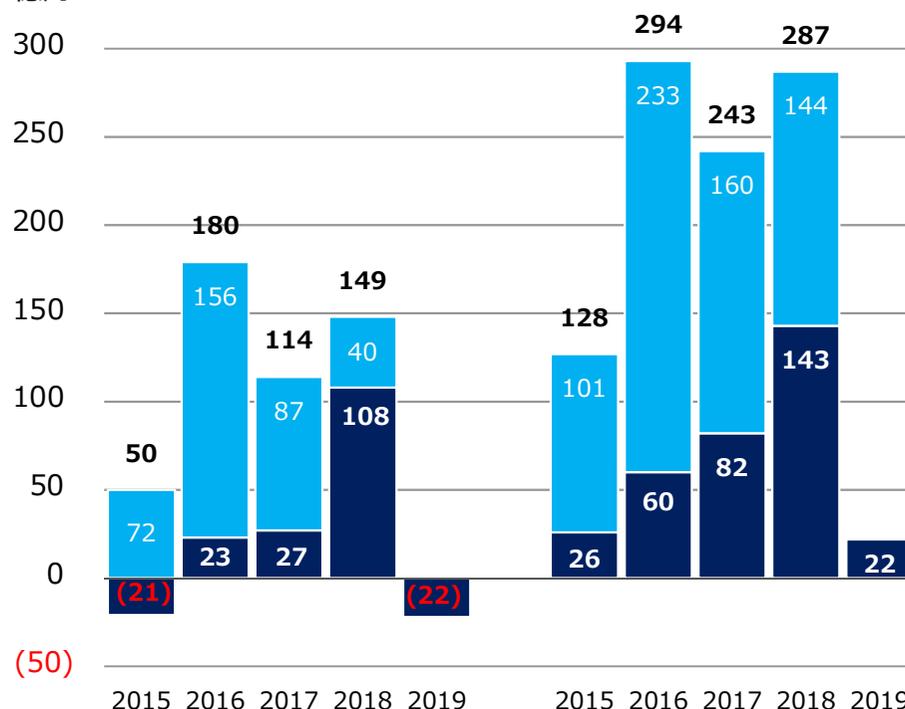
## 売上高



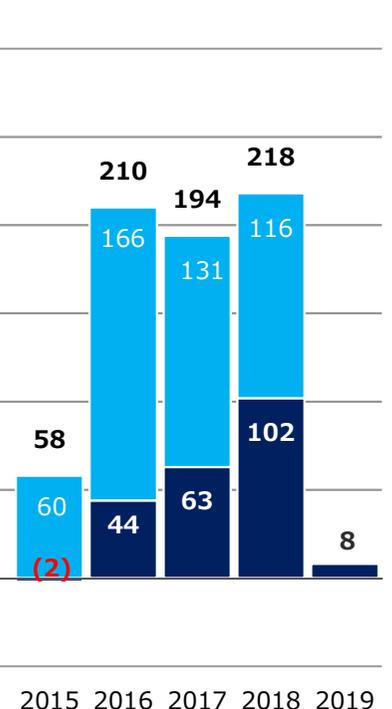
## 営業利益



## 経常利益



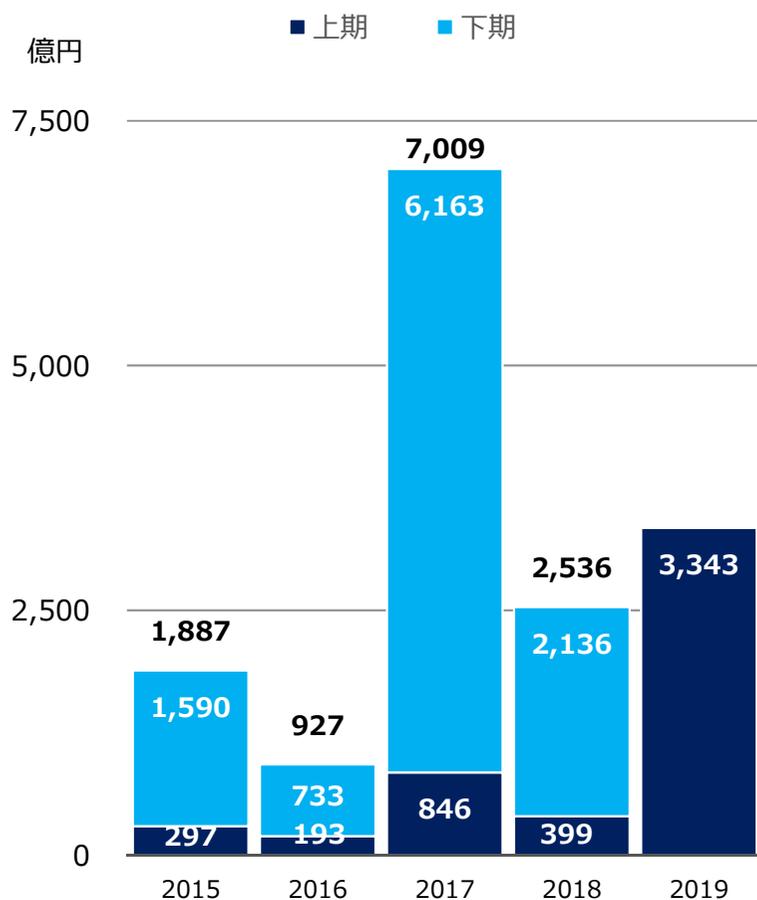
## 親会社株主に帰属する当期純利益



- 3隻の建造工事が進捗し売上は前年同期比350億円増加
- メキシコ湾向けFPSOの建造工事において引当金を計上し第2四半期時点では営業赤字

# 2019年上半期：業績の概況

## 受注高



### Woodside SNE FPSO Project

顧客	Woodside Energy (Senegal) B.V.
契約形態	FEED(基本設計)
鉱区	Sangomar鉱区内 SNE油田(セネガル)

- セネガル初の海洋油田プロジェクト

### FPSO Almirante Barroso MV32

顧客	Petrobras
契約形態	EPCI + Time Charter (21年間)
引き渡し	2022年
鉱区	Búziosフィールド (ブラジル)
水深	1,900 m
原油生産能力	150,000 bopd
ガス生産能力	212 mmscfd
貯油能力	1,400,000 bbls

- 当社8隻目のプレソルト層向けFPSO

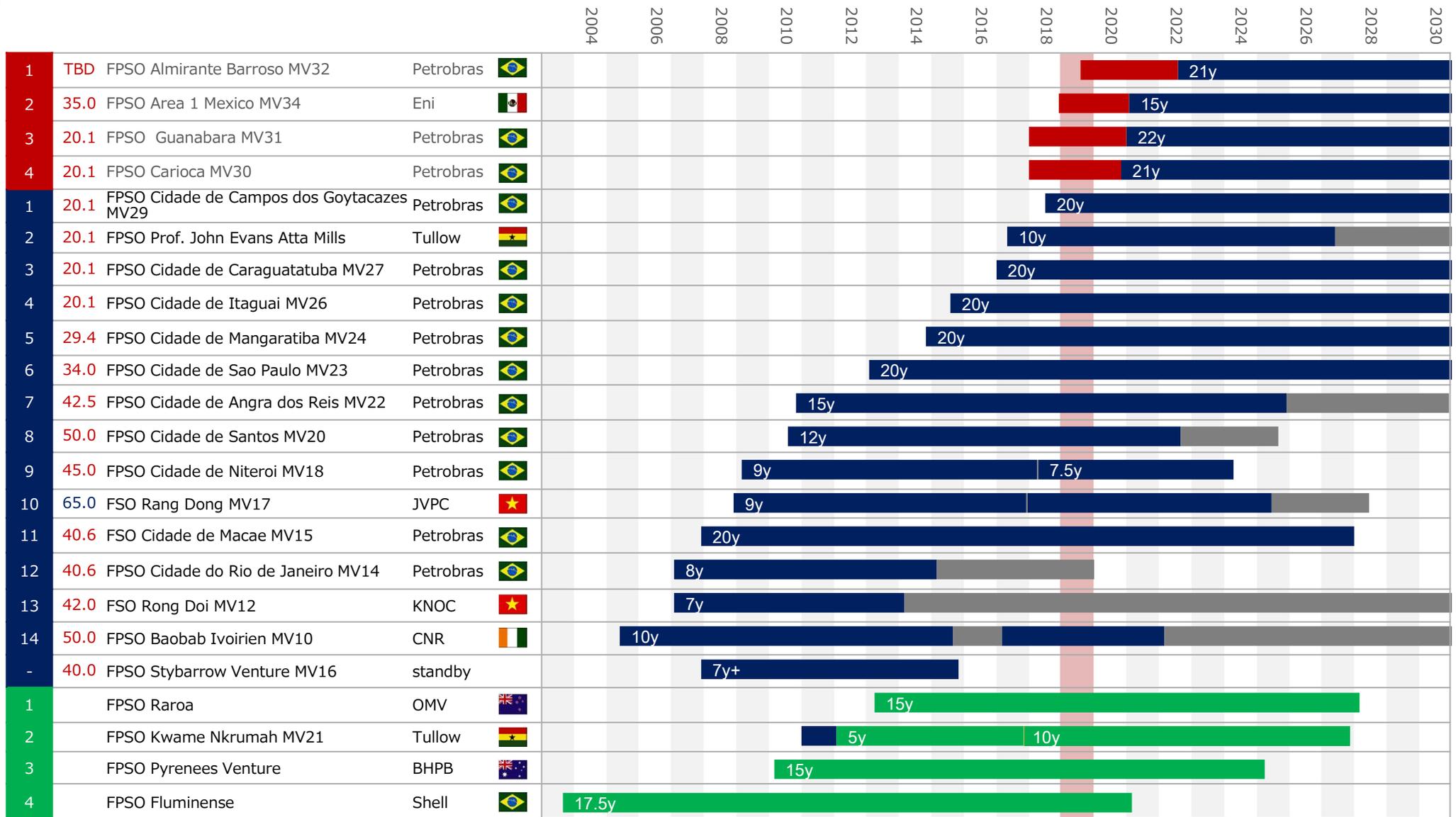
# 2019年上半期：主な建造工事

	FPSO Carioca MV30	FPSO Guanabara MV31	FPSO Area 1 MV34	FPSO Almirante Barroso MV32
顧客	Petrobras	Petrobras	Eni Mexico	Petrobras
契約形態	EPCI + Time Charter (21年)	EPCI + Time Charter (22年)	EPCI + Time Charter (15年+1年毎x5回の延長オプション)	EPCI + Time Charter (21年)
引渡し(予定)	2021年	2021年	2021年	2022年
鉱区	Sépia	Mero	Area 1 Block	Búzios
所在地	ブラジル	ブラジル	メキシコ	ブラジル
水深	2,200 m	2,100 m	32 m	1,900m
貯油能力 生産量	1,400,000 bbls 180,000 bopd 212 mmscfd	1,400,000 bbls 180,000 bopd 424 mmscfd	900,000 bbls 90,000 bopd 75 mmscfd	1,400,000 bbls 150,000 bopd 212 mmscfd
進捗状況				2019年2Q受注

# EPC(I)、チャーター、オペレーション期間

2019年8月現在

- EPC(I) 期間
- チャーター期間 (確定)
- チャーター期間 (オプション)
- オペレーション期間



当社グループ保有 (%)  
 持分法適用関連会社  
 連結子会社



事業の概況

外部環境と今後の見通し

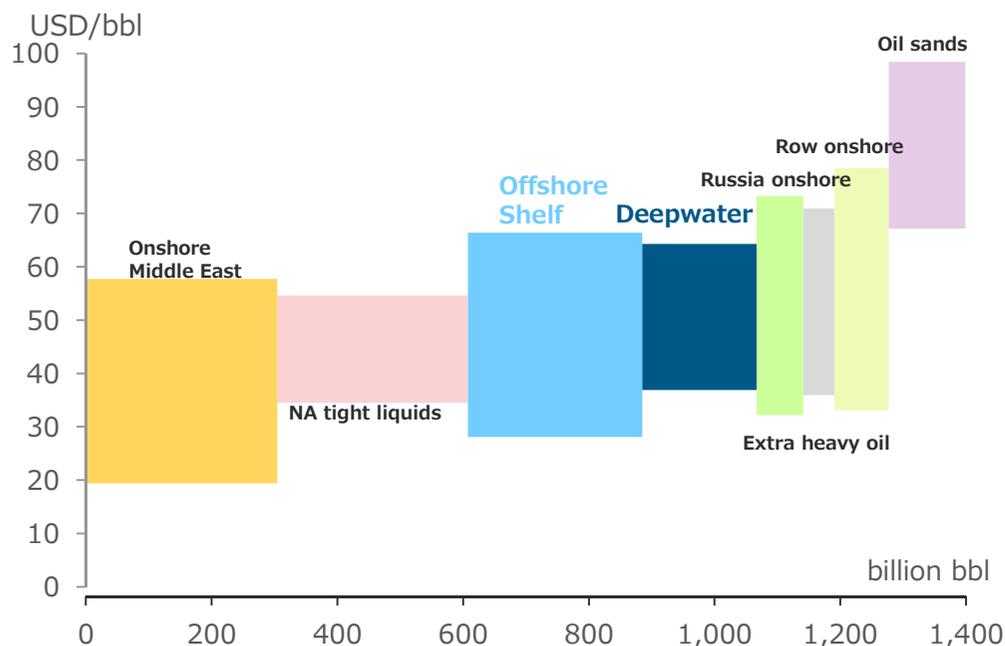
決算概要

# マーケット・レビュー

## 原油価格 (WTI)

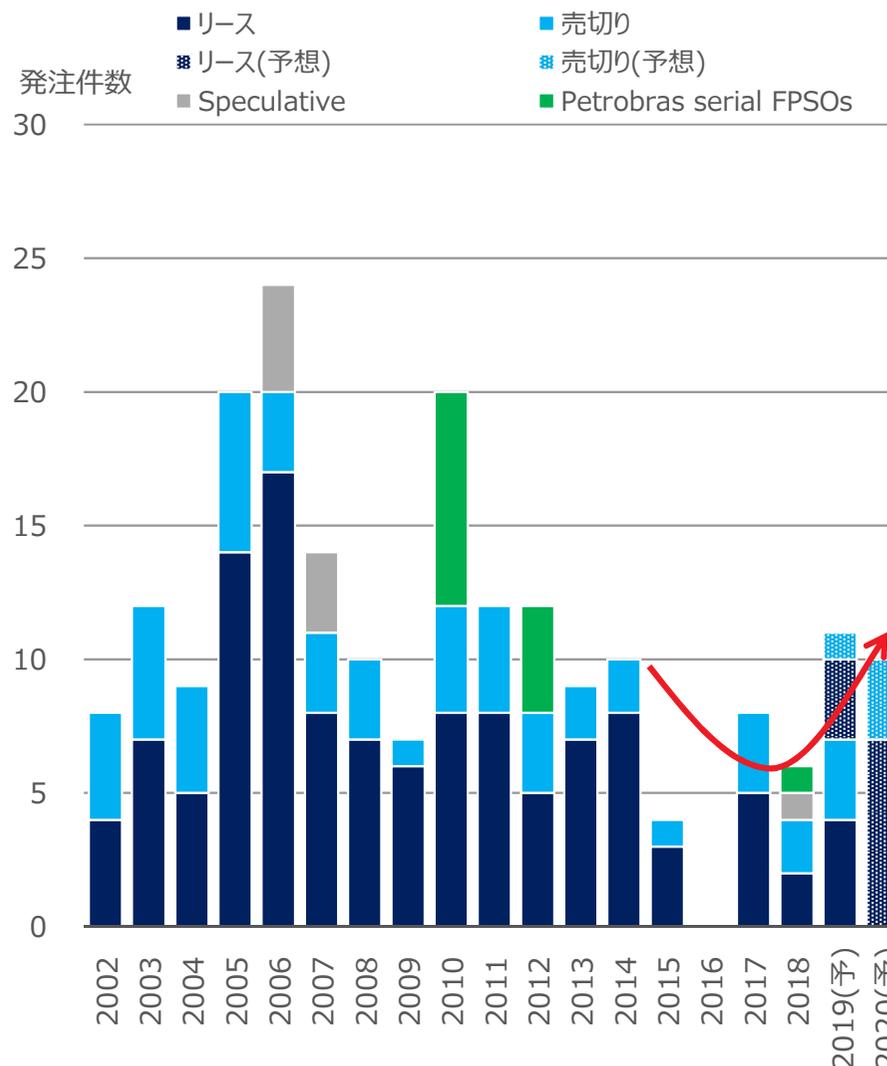


## Global liquid supply curve



Source: Rystad Energy UCube May 2019 partially adjusted by MODEC.

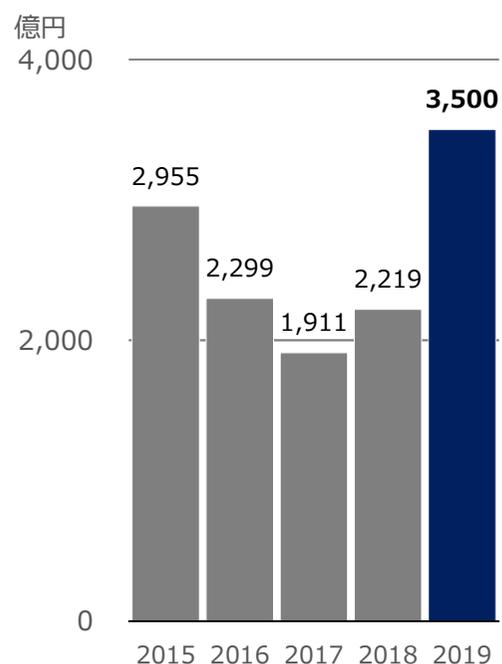
## FPSOの発注件数(実績+予想)



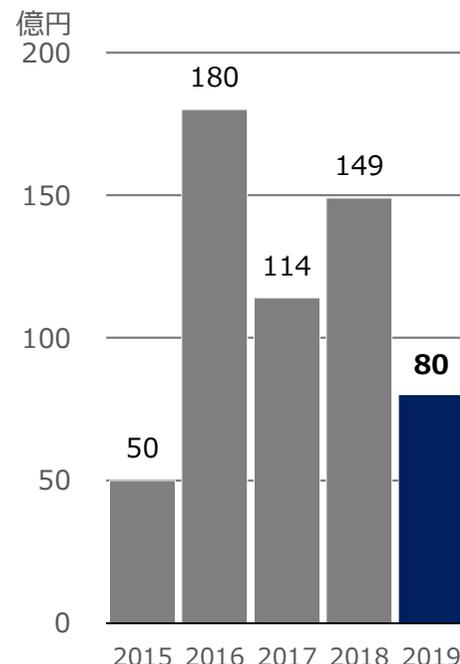
Source: Fearnley Offshore partially adjusted by MODEC.

# 2019年12月期：業績予想

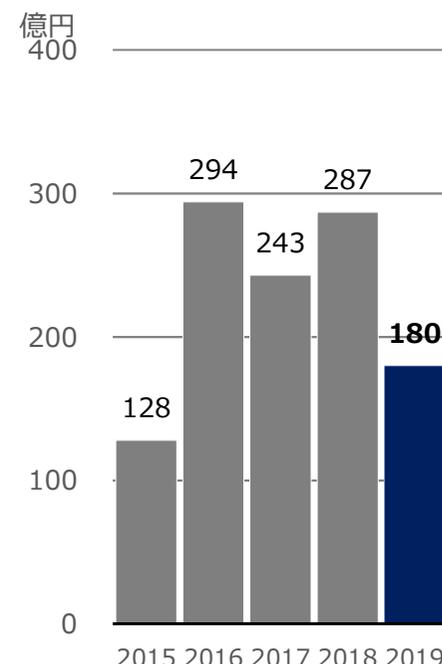
## 売上高



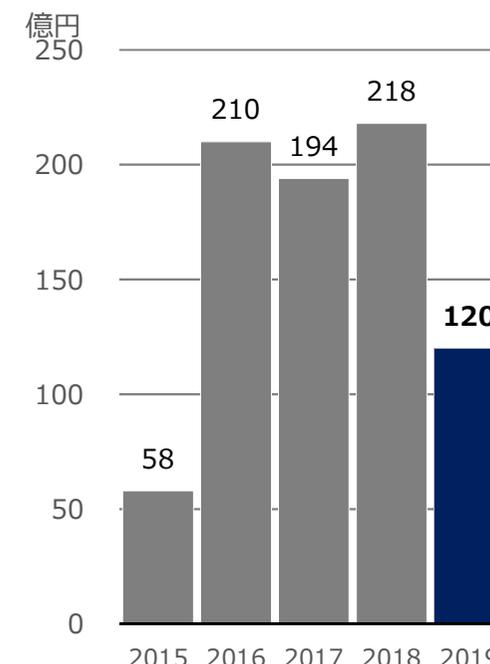
## 営業利益



## 経常利益

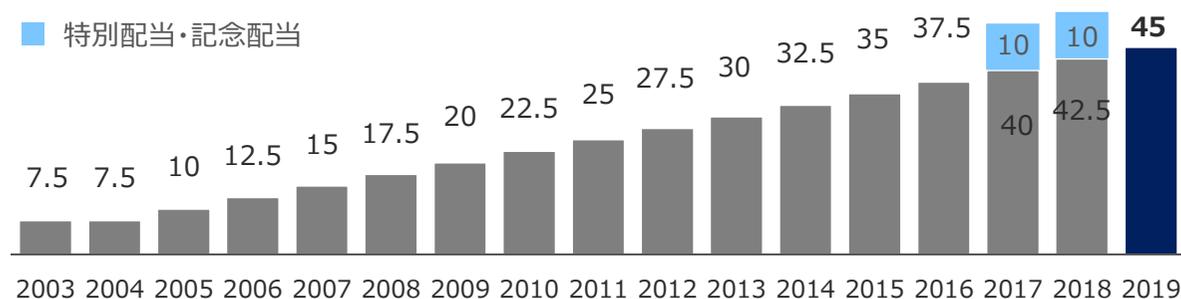


## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 一株あたり配当額(円)

■ 特別配当・記念配当



● 期初に公表した予想から変更なし



事業の概況

外部環境と今後の見通し

決算概要

# 損益計算書

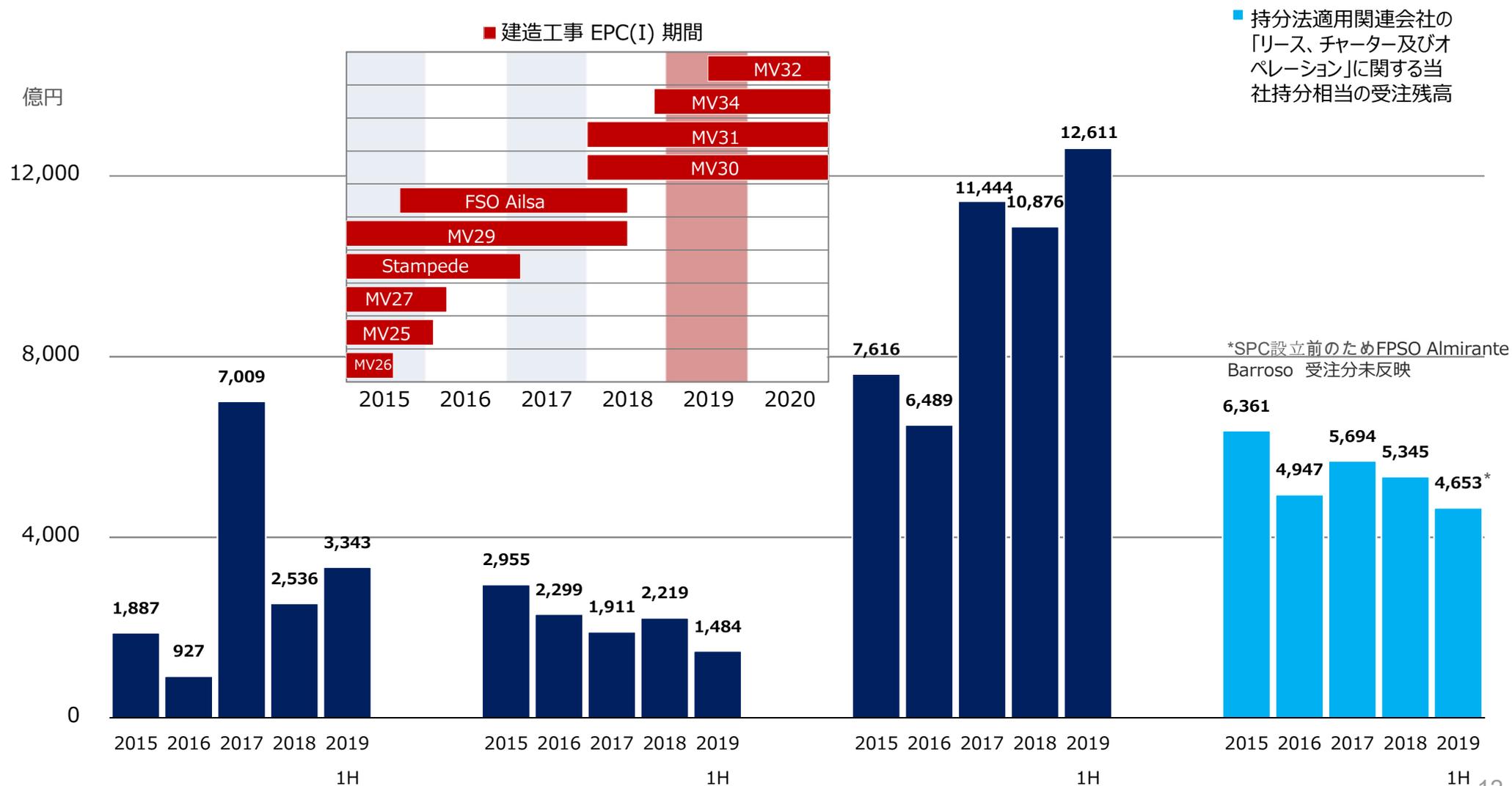
	2018 1H	2019 1H	増減	百万円
売上高	112,843	148,428	35,585	● FPSO建造工事の進捗により増加
<b>売上総利益</b>	<b>16,453</b>	<b>3,963</b>	<b>(12,490)</b>	● 前年同期にはMV29のチャーターインに伴う未実現利益の実現益、及びAvailability Feeを計上したため前年比で減益
販売費及び一般管理費	5,609	6,259	650	
<b>営業利益</b>	<b>10,844</b>	<b>(2,296)</b>	<b>(13,140)</b>	
営業外収益 (A)	5,261	5,707	446	
営業外費用 (B)	1,744	1,123	(621)	
営業外損益合計 (C = A - B)	3,517	4,584	1,067	
(Cのうち、持分法による投資利益)	1,762	2,731	969	
(Cのうち、為替差額及びデリバティブ損益)	(967)	(450)	517	
<b>経常利益</b>	<b>14,361</b>	<b>2,287</b>	<b>(12,074)</b>	
<b>特別利益</b>		<b>376</b>	<b>376</b>	● リースを終えたFPSOの売却益を計上
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>14,361</b>	<b>2,664</b>	<b>(11,697)</b>	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>10,207</b>	<b>806</b>	<b>(9,401)</b>	
為替レート (USD)	¥110.45	¥107.75	(¥2.70)	

# 受注高・売上高・受注残高

## 受注高

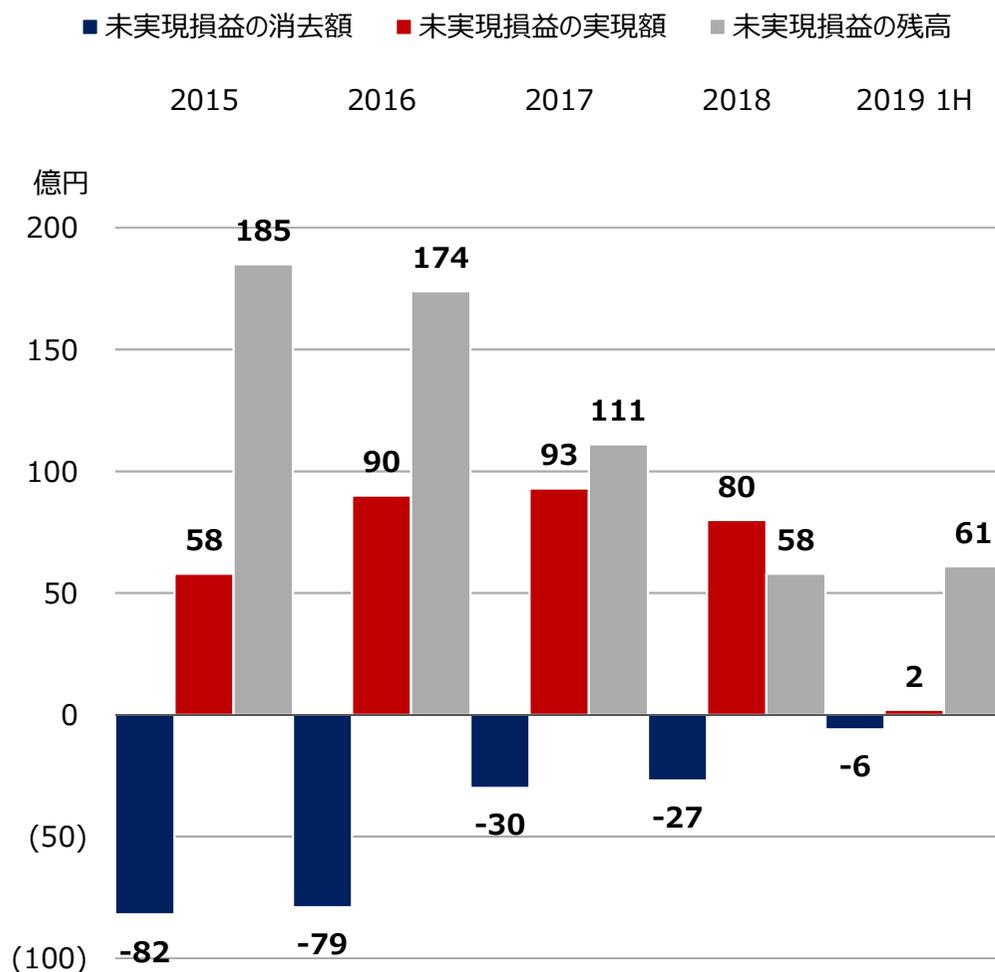
## 売上高

## 受注残高

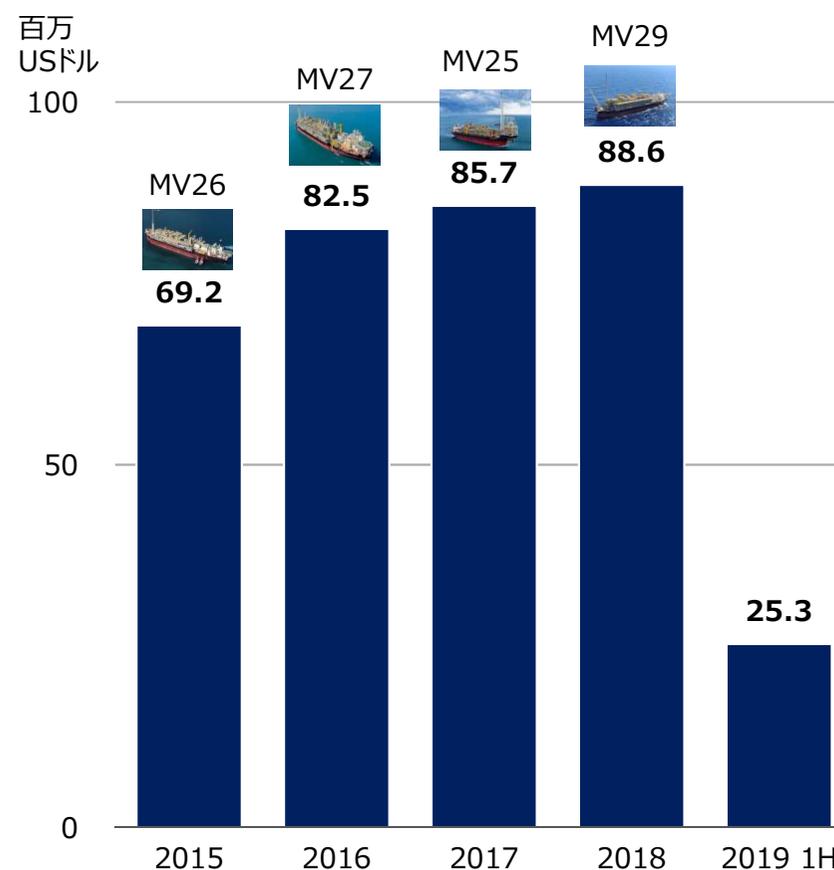


# 未実現利益、持分法投資利益

## 未実現損益の影響



## 持分法投資利益

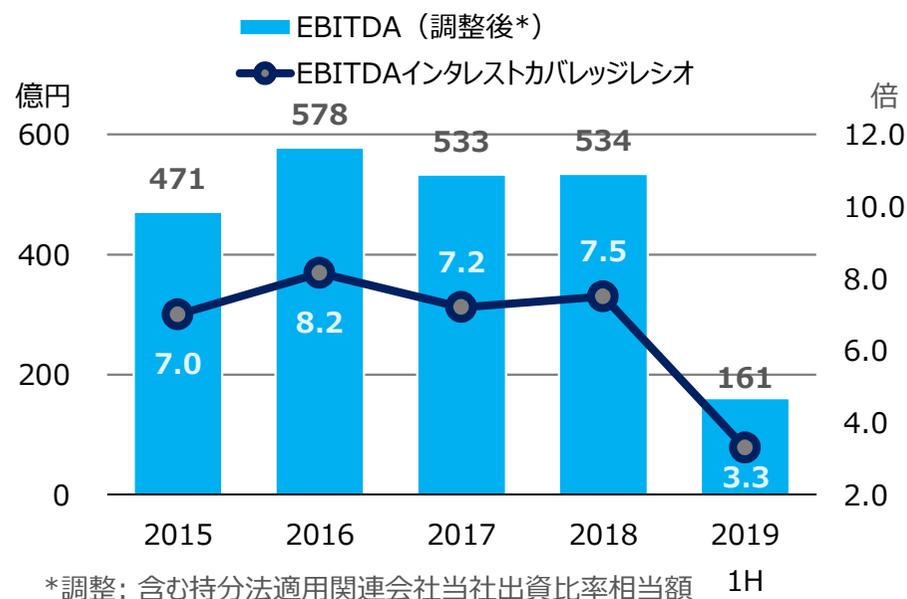


# 貸借対照表

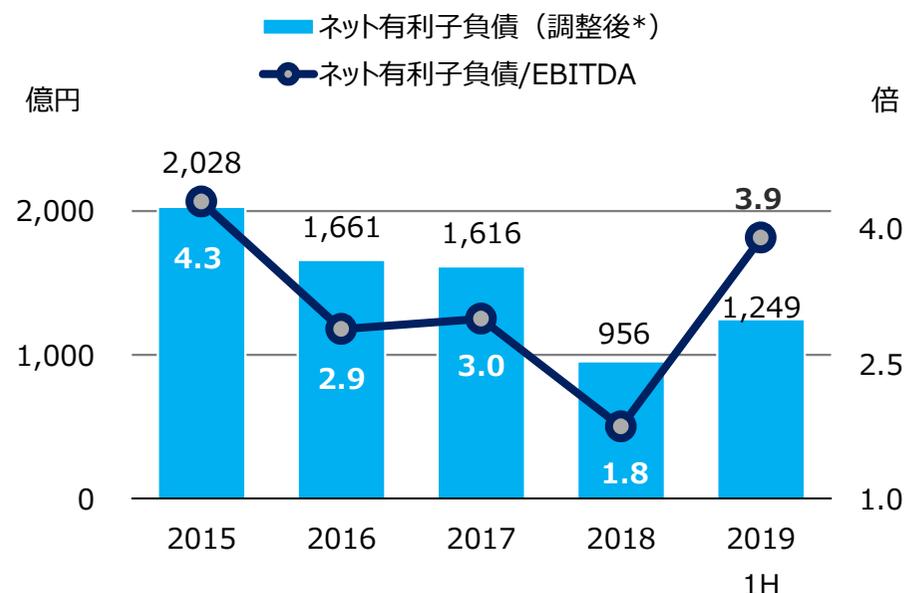
	2018	2019 1H	増減	百万円
現金及び預金	51,215	53,987	2,772	
売掛金	95,065	120,327	25,262	● 建造工事の進捗に伴い増加
短期貸付金	43,021	23,151	-19,870	● SPC向けの建造工事資金貸付の回収により減少
流動資産合計	211,584	219,931	8,347	
有形固定資産	2,543	5,110	2,567	
無形固定資産	9,260	9,333	73	
投資その他の資産	119,840	111,932	-7,908	● ヘッジ目的で保有する金利スワップの時価評価及び為替の変動をSPCへの投資価額に反映したことにより投資有価証券残高が減少
固定資産合計	131,644	126,375	-5,269	
<b>資産合計</b>	<b>343,229</b>	<b>346,307</b>	<b>3,078</b>	
	2018	2019 1H	増減	
買掛金	97,680	116,674	18,994	● 建造工事の進捗に伴い増加
1年内返済予定の長期借入金	6,142	13,951	7,809	
工事損失引当金	0	2,528	2,528	● メキシコ向けFPSOプロジェクトにつき、入札時以降に判明した条件の変更に伴う追加費用を引当金として計上
流動負債合計	144,060	173,290	29,230	
長期借入金	24,889	13,671	-11,218	● 長期借入金は約定返済により減少
固定負債合計	34,353	29,111	-5,242	
<b>負債合計</b>	<b>178,414</b>	<b>202,401</b>	<b>23,987</b>	
株主資本合計	154,446	152,055	-2,391	
その他の包括利益累計額合計	-1,781	-12,942	-11,161	
非支配株主持分	12,148	4,791	-7,357	
<b>純資産合計</b>	<b>164,814</b>	<b>143,905</b>	<b>-20,909</b>	● 繰延ヘッジ損益及び為替換算調整勘定の変動による減少
<b>負債純資産合計</b>	<b>343,229</b>	<b>346,307</b>	<b>3,078</b>	

# 財務指標の推移

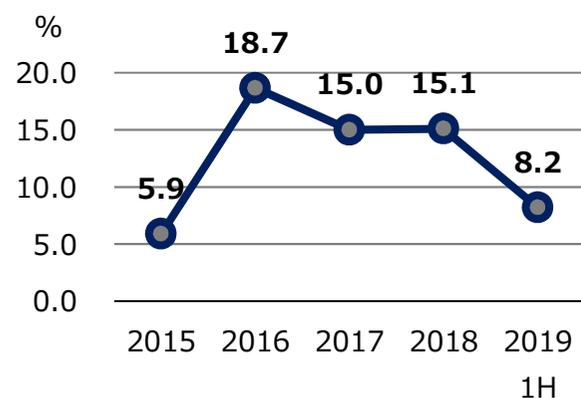
## EBITDA



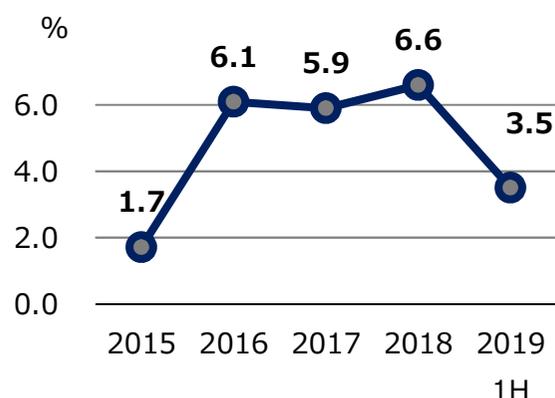
## 有利子負債



## ROE\*\*



## ROA\*\*



## 自己資本比率



\*\*通期業績予想に基づき算出



**MODEC**

